

平成26年4月24日

公共事業の事業評価書（林野公共事業の完了後の評価）  
（平成26年3月31日公表）の一部修正について

平成25年度事業評価結果のうち、公共事業の事業評価書（林野公共事業の完了後の評価）（平成26年3月31日公表）について、確認の結果一部誤りがあることが判明しましたので、修正いたします。詳細は、別添正誤表をご参照下さい。

なお、現在、掲載されている評価書は、修正済みとなっています。

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の完了後の評価)(平成26年3月31日公表)の一部修正 正誤表

正										誤											
平成25年度 完了後の評価実施地区一覧表										平成25年度 完了後の評価実施地区一覧表											
2 補助事業										2 補助事業											
(3) 森林居住環境整備事業										(3) 森林居住環境整備事業											
整理 番号	都道府 県名	事業区 分	事業実施地区名		事業実施 主体	総事業費 (千円)	総便益(B) (千円)	総費用(C) (千円)	B/C		整理 番号	都道府 県名	事業区 分	事業実施地区名		事業実施 主体	総事業費 (千円)	総便益(B) (千円)	総費用(C) (千円)	B/C	
			市町村名	地区名										市町村名	地区名						
3	新潟県	森林居住環境整備事業	上越市、妙高市(旧新井市)	上越	新潟県	1,227,100	2,362,237	2,309,767	1.02		3	新潟県	森林居住環境整備事業	上越市、妙高市(旧新井市)	上越	新潟県	1,227,100	2,378,145	2,309,767	1.03	

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の完了後の評価)(平成26年3月31日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

2 補助事業

(3) 森林居住環境整備事業

2) 地区別評価結果 上越(評価書)

完了後の評価個表

整理番号 3-1

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	新潟県
ふりがな 地域(地区)名	上越	事業実施主体	新潟県
関係市町村	上越市、妙高市(旧新井市)	管理主体	上越市、妙高市(旧新井市)
事業実施期間	H14～H19(6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>①位置等 上越市・妙高市は新潟県の西部に位置し、妙高・火打山に連なる稜線と、長野県飯山市に連なる関田山系に挟まれ、中央を一級河川関川が直江津港に注ぐ地域である。このうち、日本海側が上越市、長野県側が妙高市で県内有数の豪雪地帯である。</p> <p>②森林の現況 当地区の森林面積は22,447haでこのうち、人工林が2,931haで13.1%を占めており、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級～Ⅳ齢級の森林が1,085haで37%を占めている。また、地域内の森林のうち、水源かん養保安林が1,943ha土砂流出防備保安林が1,393haに指定されており、約57.3%が水土保持林に区分されている。このため、森林の持つ水源かん養機能等の公益機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③当地区を整備する目的・意義 本地区においてはこれまでに2,931haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。また、当地区には森林整備を効率的に実施するための林道等の路網が未整備であったことから、適切な森林整備の遅れが目立っていた。このため、林道を主体とした路網整備により高性能林業機械を活用した低コスト作業システムを実現させるため、上越市谷後地区と中ノ俣地区を連絡する南葉高原線と妙高市上小沢地区と上平丸地区を連絡する黒倉線を整備したものである。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道整備</p> <p>① 南葉高原線 車道幅員 4.0m 開設延長 3,007m 利用区域 1,277ha</p> <p>② 黒倉線 車道幅員 4.0m 開設延長 3,103m 利用区域 1,350ha</p> <p>総事業費 1,227,100千円 (当初総事業費 1,643,408千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>森林基幹道整備における計画の見直し(道整備交付金への移行)による総事業費の減少、費用対効果分析手法の見直しによる総便益の減少や、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <p>総便益(B) 2,362,237千円 (事業採択時 4,576,312千円)</p> <p>総費用(C) 2,309,767千円 (事業採択時 1,845,479千円)</p> <p>分析結果(B/C) 1.02 (事業採択時 2.48)</p>
-------------------------	--

② 事業効果の発現状況	<p>① 林道開設により、利用区域内の森林整備が促進され、整備後5年間で約81ha実施され森林施策が活性化した。</p> <p>② 平成25年の台風により農道が被災し、H26年の災害復旧工事が完了まで通行できなくなり耕作ができない状況になったが、農道の迂回路として林道を經由することにより耕作が可能となった。</p> <p>③ 南葉高原キャンプ場や平丸ブナ林等の森林総合利用の促進効果が増加した。</p>
-------------	--

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>各林道は、上越市・妙高市が定めた林道管理規則に基づき適切に管理され、年数回の草刈等を実施している。</p> <p>また、安全を確認するため年3回定期パトロールを実施している。路線内の全橋梁は、平成25年度点検診断を実施し適正に管理を行っている。</p>
---------------------	---

④ 事業実施による環境の変化	<p>林道整備により、森林整備箇所への到達時間の短縮や、既設道路等へのアクセスが容易になり労働環境の改善が図られた。</p> <p>森林整備が進み、林床内の照度が向上し下層植物の生育環境も向上し、生育不良木の除伐等により林内歩行も容易になった。</p> <p>災害時の迂回路として、地域住民生活に安心感を与えている。</p> <p>林道排水施設の一部には、野生動物の生態を考慮し集水柵に傾斜を付けた構造を取り入れるとともに、工事中では逸散土の抑制を図った。</p> <p>このことにより、生育環境の悪化、工事による継続的な渓流水の濁水などは見受けられない。</p>
----------------	--

誤

地区別評価結果

2 補助事業

(3) 森林居住環境整備事業

2) 地区別評価結果 上越(評価書)

完了後の評価個表

整理番号 3-1

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	新潟県
ふりがな 地域(地区)名	上越	事業実施主体	新潟県
関係市町村	上越市、妙高市(旧新井市)	管理主体	上越市、妙高市(旧新井市)
事業実施期間	H14～H19(6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>①位置等 上越市・妙高市は新潟県の西部に位置し、妙高・火打山に連なる稜線と、長野県飯山市に連なる関田山系に挟まれ、中央を一級河川関川が直江津港に注ぐ地域である。このうち、日本海側が上越市、長野県側が妙高市で県内有数の豪雪地帯である。</p> <p>②森林の現況 当地区の森林面積は22,447haでこのうち、人工林が2,931haで13.1%を占めており、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級～Ⅳ齢級の森林が1,085haで37%を占めている。また、地域内の森林のうち、水源かん養保安林が1,943ha土砂流出防備保安林が1,393haに指定されており、約57.3%が水土保持林に区分されている。このため、森林の持つ水源かん養機能等の公益機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③当地区を整備する目的・意義 本地区においてはこれまでに2,931haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。また、当地区には森林整備を効率的に実施するための林道等の路網が未整備であったことから、適切な森林整備の遅れが目立っていた。このため、林道を主体とした路網整備により高性能林業機械を活用した低コスト作業システムを実現させるため、上越市谷後地区と中ノ俣地区を連絡する南葉高原線と妙高市上小沢地区と上平丸地区を連絡する黒倉線を整備したものである。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道整備</p> <p>① 南葉高原線 車道幅員 4.0m 開設延長 3,007m 利用区域 1,277ha</p> <p>② 黒倉線 車道幅員 4.0m 開設延長 3,103m 利用区域 1,350ha</p> <p>総事業費 1,227,100千円 (当初総事業費 1,643,408千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>森林基幹道整備における計画の見直し(道整備交付金への移行)による総事業費の減少、費用対効果分析手法の見直しによる総便益の減少や、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <p>総便益(B) 2,378,145千円 (事業採択時 4,576,312千円)</p> <p>総費用(C) 2,309,767千円 (事業採択時 1,845,479千円)</p> <p>分析結果(B/C) 1.03 (事業採択時 2.48)</p>
-------------------------	--

② 事業効果の発現状況	<p>① 林道開設により、利用区域内の森林整備が促進され、整備後5年間で約81ha実施され森林施策が活性化した。</p> <p>② 平成25年の台風により農道が被災し、H26年の災害復旧工事が完了まで通行できなくなり耕作ができない状況になったが、農道の迂回路として林道を經由することにより耕作が可能となった。</p> <p>③ 南葉高原キャンプ場や平丸ブナ林等の森林総合利用の促進効果が増加した。</p>
-------------	--

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>各林道は、上越市・妙高市が定めた林道管理規則に基づき適切に管理され、年数回の草刈等を実施している。</p> <p>また、安全を確認するため年3回定期パトロールを実施している。路線内の全橋梁は、平成25年度点検診断を実施し適正に管理を行っている。</p>
---------------------	---

④ 事業実施による環境の変化	<p>林道整備により、森林整備箇所への到達時間の短縮や、既設道路等へのアクセスが容易になり労働環境の改善が図られた。</p> <p>森林整備が進み、林床内の照度が向上し下層植物の生育環境も向上し、生育不良木の除伐等により林内歩行も容易になった。</p> <p>災害時の迂回路として、地域住民生活に安心感を与えている。</p> <p>林道排水施設の一部には、野生動物の生態を考慮し集水柵に傾斜を付けた構造を取り入れるとともに、工事中では逸散土の抑制を図った。</p> <p>このことにより、生育環境の悪化、工事による継続的な渓流水の濁水などは見受けられない。</p>
----------------	--

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の完了後の評価)(平成26年3月31日公表)の一部修正 正誤表

正		誤	
地区別評価結果		地区別評価結果	
2 補助事業 (3) 森林居住環境整備事業 2) 地区別評価結果 上越(評価書)		2 補助事業 (3) 森林居住環境整備事業 2) 地区別評価結果 上越(評価書)	
整理番号	3	整理番号	3
便益集計表		便益集計表	
事業名: 森林居住環境整備事業 都道府県名: 新潟県		事業名: 森林居住環境整備事業 都道府県名: 新潟県	
地域(地区)名: 上越 <small>じょうえつ</small> (単位: 千円)		地域(地区)名: 上越 <small>じょうえつ</small> (単位: 千円)	
大区分	中区分	評価額	備考
木材生産等便益	木材利用増進便益	6,170	
	木材生産確保・増進便益	372,275	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	9,698	
	森林整備促進便益	1,301,338	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮便益	8,386	
	ふれあい機会創出便益	38,961	
	フォレストアメニティ施設利用便益	151,563	
	副産物増大便益	105,286	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	192,554	
	災害復旧経費縮減便益	46,441	
維持管理費縮減便益		129,565	
総便益(B)		2,362,237	
総費用(C)		2,309,767	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,362,237}{2,309,767} = 1.02$		
(注) 便益額算定方法は、代表路線を表示しています。			
便益集計表		便益集計表	
事業名: 森林居住環境整備事業 都道府県名: 新潟県		事業名: 森林居住環境整備事業 都道府県名: 新潟県	
地域(地区)名: 上越 <small>じょうえつ</small> (単位: 千円)		地域(地区)名: 上越 <small>じょうえつ</small> (単位: 千円)	
大区分	中区分	評価額	備考
木材生産等便益	木材利用増進便益	6,170	
	木材生産確保・増進便益	372,275	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	9,698	
	森林整備促進便益	1,301,338	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮便益	8,386	
	ふれあい機会創出便益	38,961	
	フォレストアメニティ施設利用便益	151,563	
	副産物増大便益	105,286	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	192,554	
	災害復旧経費縮減便益	50,812	
維持管理費縮減便益		141,102	
総便益(B)		2,378,145	
総費用(C)		2,309,767	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,378,145}{2,309,767} = 1.03$		
(注) 便益額算定方法は、代表路線を表示しています。			

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の完了後の評価)(平成26年3月31日公表)の一部修正 正誤表

正  
地区別評価結果

- 2 補助事業
- (3) 森林居住環境整備事業
- 2) 地区別評価結果 上越(参考資料)

様式3		効果額集計表			
事業名		都道府県名		計画区名	上越
路線名等		南葉高原線		計画期間	H14 ~ H19
区分	項目	効果額(事業全体)		備考	
		現在価格 (千円)	現在価格 (千円)		
水源かん養 便益	洪水防止便益				
	流域貯水便益				
	水質浄化便益				
小計					
山地保全 便益	土砂流出防止便益				
	土砂崩壊防止便益				
小計					
環境保全 便益	炭素固定便益				
	気候緩和便益				
	騒音軽減便益				
	飛砂軽減便益				
	風害軽減便益				
	大気浄化便益				
	霧害軽減便益				
	火災防衛便益				
	遺囑保全便益				
	生物多様性の保全便益				
	保健休養便益				
小計					
木材生産 便益	生産等経費縮減便益				
	利用増進便益				
	生産確保・促進便益	273,831	55,903		
小計					
森林整備 経費縮減 等便益	造林作業経費縮減便益				
	歩行時間等経費縮減便益				
	治山経費縮減便益				
	森林管理等経費縮減便益	31,669	6,465		
小計					
一般交通 便益	走行時間短縮便益	2,239,002	457,099		
	走行経費減少便益				
小計					
森林の 総合利用 便益	アクセス時間短縮等便益	16,111	3,289		
	アクセス時間短縮便益	16,111	3,289		
	ふれあい機会創出便益	164,635	33,610		
	フォレストアメニティ施設利用便益	676,418	138,093		
	利用確保便益	676,418	138,093		
	施設滞在便益				
	副産物増大便益	515,721	105,286		
小計					
災害等 軽減便益	災害誘引回路等確保便益	943,183	192,554		
	防火帯便益				
	災害復旧経費縮減便益	227,483	46,441		
小計					
維持管理費縮減便益	災害復旧経費縮減便益	1,170,666	238,995		
	維持管理費縮減便益	634,646	129,565		
山村環境 整備便益	生活用水確保便益				
	生活排水浄化便益				
	し尿処理経費等縮減便益				
	浄化槽設置経費縮減便益				
小計					
その他の 便益	集落内除雪便益				
	土地創出便益				
	生活安定確保便益				
	通行安全確保便益				
小計					
合計		5,691,030	1,161,840	総便益(B)	

誤  
地区別評価結果

- 2 補助事業
- (3) 森林居住環境整備事業
- 2) 地区別評価結果 上越(参考資料)

様式3		効果額集計表			
事業名		都道府県名		計画区名	上越
路線名等		南葉高原線		計画期間	H14 ~ H19
区分	項目	効果額(事業全体)		備考	
		現在価格 (千円)	現在価格 (千円)		
水源かん養 便益	洪水防止便益				
	流域貯水便益				
	水質浄化便益				
小計					
山地保全 便益	土砂流出防止便益				
	土砂崩壊防止便益				
小計					
環境保全 便益	炭素固定便益				
	気候緩和便益				
	騒音軽減便益				
	飛砂軽減便益				
	風害軽減便益				
	大気浄化便益				
	霧害軽減便益				
	火災防衛便益				
	遺囑保全便益				
	生物多様性の保全便益				
	保健休養便益				
小計					
木材生産 便益	生産等経費縮減便益				
	利用増進便益				
	生産確保・促進便益	273,831	55,903		
小計					
森林整備 経費縮減 等便益	造林作業経費縮減便益				
	歩行時間等経費縮減便益				
	治山経費縮減便益				
	森林管理等経費縮減便益	31,669	6,465		
小計					
一般交通 便益	走行時間短縮便益	2,239,002	457,099		
	走行経費減少便益				
小計					
森林の 総合利用 便益	アクセス時間短縮等便益	16,111	3,289		
	アクセス時間短縮便益	16,111	3,289		
	ふれあい機会創出便益	164,635	33,610		
	フォレストアメニティ施設利用便益	676,418	138,093		
	利用確保便益	676,418	138,093		
	施設滞在便益				
	副産物増大便益	515,721	105,286		
小計					
災害等 軽減便益	災害誘引回路等確保便益	943,183	192,554		
	防火帯便益				
	災害復旧経費縮減便益	248,893	50,812		
小計					
維持管理費縮減便益	災害復旧経費縮減便益	1,192,076	243,366		
	維持管理費縮減便益	691,158	141,102		
山村環境 整備便益	生活用水確保便益				
	生活排水浄化便益				
	し尿処理経費等縮減便益				
	浄化槽設置経費縮減便益				
小計					
その他の 便益	集落内除雪便益				
	土地創出便益				
	生活安定確保便益				
	通行安全確保便益				
小計					
合計		5,768,852	1,177,748	総便益(B)	



(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の完了後の評価)(平成26年3月31日公表)の一部修正 正誤表

正

誤

地区別評価結果

地区別評価結果

2 補助事業

(3) 森林居住環境整備事業

2) 地区別評価結果 上越(参考資料)

2 補助事業

(3) 森林居住環境整備事業

2) 地区別評価結果 上越(参考資料)

維持管理費縮減便益 634,646

$$B = \sum_{l=1}^Y \frac{(C_o - C_l) \times L_l}{(1 + i)^l}$$

Y: 評価期間 59  
 Co: 林道舗装等を実施しない場合の維持管理費(円/m・年) 1,500  
 Cl: 林道舗装等を実施した場合の維持管理費(円/m・年) 200  
 Ll: 維持管理費の縮減の対象となる林道の延長(m) 0 - 12,625

年度	社会的別開	林道の延長	効果額	現在価値化
1987	2,7725			
1988	2,6658	0	0	0
1989	2,5633	0	0	0
1990	2,4547	240	312	769
1991	2,3699	840	1,092	2,588
1992	2,2788	1,334	1,734	3,951
1993	2,1911	1,823	2,500	5,478
1994	2,1068	2,374	3,736	7,671
1995	2,0258	3,437	4,598	9,315
1996	1,9479	4,003	5,204	10,137
1997	1,8730	5,278	6,861	12,651
1998	1,8009	6,498	7,447	12,871
1999	1,7317	8,000	7,934	13,739
2000	1,6651	6,662	6,861	14,421
2001	1,6010	8,016	10,421	16,684
2002	1,5395	8,270	10,763	18,570
2003	1,4802	9,740	12,662	18,742
2004	1,4233	10,674	13,876	19,750
2005	1,3686	11,286	14,672	20,080
2006	1,3159	12,460	16,210	21,331
2007	1,2653	12,626	16,413	20,787
2008	1,2167	12,626	16,413	19,970
2009	1,1699	12,626	16,413	19,202
2010	1,1249	12,626	16,413	18,463
2011	1,0816	12,626	16,413	17,752
2012	1,0400	12,626	16,413	17,070
2013	1,0000	12,626	16,413	16,413
2014	0,9615	12,626	16,413	15,781
2015	0,9246	12,626	16,413	15,175
2016	0,8890	12,626	16,413	14,591
2017	0,8548	12,626	16,413	14,030
2018	0,8219	12,626	16,413	13,490
2019	0,7903	12,626	16,413	12,971
2020	0,7599	12,626	16,413	12,472
2021	0,7307	12,626	16,413	11,992
2022	0,7026	12,626	16,413	11,532
2023	0,6756	12,626	16,413	11,089
2024	0,6496	12,626	16,413	10,662
2025	0,6246	12,626	16,413	10,252
2026	0,6006	12,626	16,413	9,856
2027	0,5775	12,626	16,413	9,474
2028	0,5553	12,626	16,413	9,114
2029	0,5339	12,626	16,413	8,763
2030	0,5134	12,626	16,413	8,426
2031	0,4938	12,626	16,413	8,101
2032	0,4746	12,626	16,413	7,786
2033	0,4564	12,626	16,413	7,491
2034	0,4388	12,626	16,413	7,202
2035	0,4220	12,626	16,413	6,928
2036	0,4067	12,626	16,413	6,669
2037	0,3901	12,626	16,413	6,403
2038	0,3751	12,626	16,413	6,157
2039	0,3607	12,626	16,413	5,920
2040	0,3468	12,626	16,413	5,692
2041	0,3335	12,626	16,413	5,474
2042	0,3207	12,626	16,413	5,264
2043	0,3083	12,626	16,413	5,060
2044	0,2965	12,626	16,413	4,860
2045	0,2851	12,626	16,413	4,673
2046	0,2741	12,626	16,413	4,499
合計				634,646

維持管理費縮減便益 691,158

$$B = \sum_{l=1}^Y \frac{(C_o - C_l) \times L_l}{(1 + i)^l}$$

Y: 評価期間 59  
 Co: 林道舗装等を実施しない場合の維持管理費(円/m・年) 1,500  
 Cl: 林道舗装等を実施した場合の維持管理費(円/m・年) 200  
 Ll: 維持管理費の縮減の対象となる林道の延長(m) 0 - 14,400

年度	社会的別開	林道の延長	効果額	現在価値化
1987	2,7725			
1988	2,6658	0	0	0
1989	2,5633	0	0	0
1990	2,4547	200	260	641
1991	2,3699	1,800	2,340	5,646
1992	2,2788	2,400	3,120	7,110
1993	2,1911	3,000	3,900	8,545
1994	2,1068	3,600	4,680	9,860
1995	2,0258	4,200	5,460	11,061
1996	1,9479	4,800	6,240	12,155
1997	1,8730	5,400	7,020	13,148
1998	1,8009	6,000	7,800	14,047
1999	1,7317	6,600	8,580	14,858
2000	1,6651	7,200	9,360	15,585
2001	1,6010	7,800	10,140	16,234
2002	1,5395	8,400	10,920	16,811
2003	1,4802	9,000	11,700	17,318
2004	1,4233	9,600	12,480	17,763
2005	1,3686	10,200	13,260	18,148
2006	1,3159	10,800	14,040	18,475
2007	1,2653	11,400	14,820	18,752
2008	1,2167	12,000	15,600	19,081
2009	1,1699	12,600	16,380	19,363
2010	1,1249	13,200	17,160	19,603
2011	1,0816	13,800	17,940	19,804
2012	1,0400	14,400	18,720	19,969
2013	1,0000	14,400	18,720	19,720
2014	0,9615	14,400	18,720	19,500
2015	0,9246	14,400	18,720	19,300
2016	0,8890	14,400	18,720	19,114
2017	0,8548	14,400	18,720	18,940
2018	0,8219	14,400	18,720	18,776
2019	0,7903	14,400	18,720	18,621
2020	0,7599	14,400	18,720	18,475
2021	0,7307	14,400	18,720	18,337
2022	0,7026	14,400	18,720	18,206
2023	0,6756	14,400	18,720	18,081
2024	0,6496	14,400	18,720	17,961
2025	0,6246	14,400	18,720	17,846
2026	0,6006	14,400	18,720	17,736
2027	0,5775	14,400	18,720	17,630
2028	0,5553	14,400	18,720	17,528
2029	0,5339	14,400	18,720	17,430
2030	0,5134	14,400	18,720	17,336
2031	0,4938	14,400	18,720	17,246
2032	0,4746	14,400	18,720	17,159
2033	0,4564	14,400	18,720	17,074
2034	0,4388	14,400	18,720	17,000
2035	0,4220	14,400	18,720	16,928
2036	0,4067	14,400	18,720	16,858
2037	0,3901	14,400	18,720	16,790
2038	0,3751	14,400	18,720	16,722
2039	0,3607	14,400	18,720	16,655
2040	0,3468	14,400	18,720	16,590
2041	0,3335	14,400	18,720	16,526
2042	0,3207	14,400	18,720	16,463
2043	0,3083	14,400	18,720	16,401
2044	0,2965	14,400	18,720	16,340
2045	0,2851	14,400	18,720	16,281
2046	0,2741	14,400	18,720	16,223
合計				691,158

完成延長よりオーバーしています。